

しんぶん 陽だまり

第002号 09/3/20発行
発行 陽だまりネット
責任者 事務局世話人 鳥毛道夫
連絡先 上田市上田原1-142-7
電話 (26) 27772

ザ・ショックデー 3.13

仕事は無い、くらくらしていきけない

そして「生きられない」。そんな、想像もできなかった事態が私たちの地域にありまして。けれども、当日、その場に居合わせなければ、実感は湧いてこないかも知れません。

本人は仕事を失い家賃も払えず住居を失う。やむを得ず車検の切れた軽自動車の中での生活。幾日も何も食べられないという。

寒い日が続き、峰をうつつらと雪化粧した山々に囲まれた、一見平和な町でのことなのです。

車中ぐらし

私たちの常識では、それは東京のような都会での出来事でした。しかし、それは私たちの目の前の出来事です。

この相談では、共産党の高村京子県議を先頭に東西奔走。何よりも健康回復を重視して医療生協に、そして生活費の確保へ。

コーヒーポット

年越し派遣村の村長を務めた湯浅誠さんが、「コーヒーポットとカップがあれば居場所がつくれる」と言っていました。

「藁にもすがる」と言われますが、実際、登山の時などはちょっとした枯れ草に手を添えるだけで、体のバランスを保つことが出来ます。温かいコーヒー一杯が、どんなにか



ホッとした居場所をつくるか、わかるような気がします。

陽だまりネットがそんな居場所になればと思うのですが、それは、誰かがつくってくれるものではなく、集う人々が自ら生み出していくものようです。

そのためにも「場所」が欲しい。

金がなくて病院に行けない

まだ働いてくらしを支えていかなければならないのに、金がないから病院に行けない。そんなに苦しく切ないことはありません。そんな状態にあることを恥ずかしくて言えない、と言います。

やるせない気持ちだが相談員の心に広がってきます。

病気に、もつきの幸いとばかりに退職強要

名の知れた大会社。試用期間が過ぎる頃、協調性がないと解雇を通告。そんな環境で鬱になる。

会社はしめたとばかりに病気休職を認め、その間に直らなければ退職だという。本人都合だ、自己都合だという。

聞いている内に腹が

立ってくる。療養給付を受けるにも、会社に行かれない状態なのに「会社に出てきて手続きをとれ」という。

人間性のかげらもないこの会社には、どんなふうにも手厳しくお灸をすえてやるか考えてしまふ。

相次ぐ相談 二時間で十八人

相談記録をまだ詳しく見ていない中、聞いていた話だけでも以上の通りなのです。どんなに深刻な事態が進行しているのか、空恐ろしい気がしてきます。

しかも、ほとんど突然行った、たった二時間だけの行動ですから、まさに氷山の一角でしかありません。

私たちの構える課題も見えてきた

やってみて初めて見えてくるものがありま

事務局員大募集

予想以上に大変な事態です。それに応えられる事務局が必要です。ぜひ皆さんにご参加をお願いします。パソコンのできる方大歓迎です。ご連絡を。

米や缶詰、パスタなどを

上田市国際交流協会の皆さんが、仕事を失った外国人労働者への支援活動をしています。特に米やパスタ、缶詰など保存のきく食料の提供を呼び掛けています。26日までに、元の郵便局、ふれあい福祉センターに届けて欲しいそうですのでご協力を。

す。余りにもたくさん。一人ひとりの相談者の皆さんは本場に多岐にわたって深刻な悩みを抱えています。相談員一人では対応しきれないのです。様々な専門知識を持つ皆さんのチーム対応が不可欠です。

この相談活動では共産党の議員団の皆さんが大奮闘でした。医療生協の看護師さんたちも、上小労連の役員なども大奮闘でした。

しかし、相談員の数はまだまだ足りません。多くの皆さんのご参加をお願いします。走りながら考えよう、ということでも出発しましたので、多くの不備があります。何とか乗り越えていきたいと思えますのでご支援をお願いします。

それにつけても金の欲しさよ

「一杯、酒杯、たばこ箱の募金を

ネットワークをつくる議論の中では、会費を集めるエネルギーが大変、ということでは取らないことを前提に進めてきました。

しかしいま、やっぱり会費を集めた方がよいのでは、という意見が出ています。何をやるにしても、どうしても資金が必要だからです。

みんながよく良く議論したいと思います。

とりあえず

善意の募金を

とりあえず相談活動を進めるのに必要な資金の募金をお願いします。

第二回目の相談活動を二十七日に行いますが、トン汁などの炊き

出しも行う予定です。お金も、野菜や豚肉などの提供も大歓迎です。

知恵の提供を

相談マニュアルを作りたいと思います。

どこへ行けばどんなことで相談に乗っても

行政との連携も

行政の皆さんとの連携が大変大事なことでして議論されています。私たちだけで解決できるものには限界があります。

自治体には、住民の安全、安心のために様々な制度がありますし、歴史の積み重ねもあり

らえるか、そんな「助かるマップ」も考えています。

そのためには、皆さんの知恵を借りたいと思います。

知らなくて損をしていること、時には命さえ失いかねない不幸を避けるために、様々な努力をしたいと思えます。

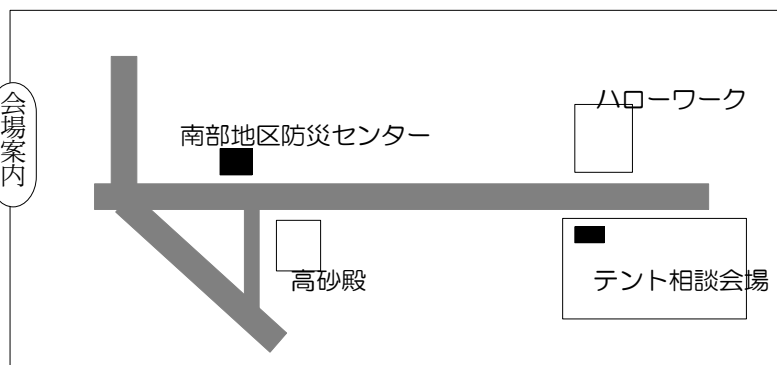
ます。そんな行政と相談者のつなぎ役としての役割も大事です。私たち自身も大いに勉強し、行政とのしっかりした連携を実現したいものです。



相談活動二回目を行います

実施日 3月27日(金) 午前10:00～12:00

会場 ハローワーク前のテント会場 南部地区防災コミュニティーセンター



相談内容

労働問題・くらしの問題、健康問題など何でも受け付けます。お気軽に、どんな事でもご相談ください。当日はあたたかいトン汁も用意します。健康チェックもあります。